

令和6年度 第3回 浜松市美術館協議会

日 時 令和7年3月19日（水）

午後2時から

場 所 浜松市美術館 2階 応接室

次 第

1 開 会

2 浜松市美術館協議会会長あいさつ

3 浜松市市民部文化振興担当部長あいさつ

4 議 題

（1）令和7年度浜松市美術館事業計画について

（2）令和7年度浜松市秋野不矩美術館事業計画について

（3）その他

5 閉 会

令和6年度第3回浜松市美術館協議会

No.	選出区分	氏 名	経 歴 等	備考
1	学識経験者	ヤマグチ タケシ 山口 剛	浜松美術協会理事 日本工芸会正会員	
2	学識経験者	アラカワ トモ子 荒川 朋子	静岡文化芸術大学デザイン学部准教授	
3	学識経験者	カキヒ ユウコ 寛 有子	浜松学院大学 現代コミュニケーション学科准教授	
4	学識経験者	ウチダ いづミ 内田 いづ美	元浜松市教育研究会美術科研究部顧問校長	会長
5	社会教育関係者	イノベ ケイジ 磯部 啓次	浜北文化協会副会長	
6	社会教育関係者	イシガミ ミチヨ 石上 充代	静岡県立美術館学芸課長	
7	学校教育関係者	イマダ トオル 今田 徹	浜松市立村櫛小学校長	会長職務 代理者
8	学校教育関係者	イトウ キミコ 伊藤 公子	浜松市立北浜東幼稚園長	

美術館展覧会開催事業	市民部美術館 電話：454-6801
------------	-----------------------

(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	債務負担 行為限度額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	62,520	0	0	62,520	0



※債務負担行為 事項：美術館特別展開催事業費（特別展「躍動するアジア陶磁展」開催経費）

期間：令和7年度まで 限度額：15,189千円

※債務負担行為 事項：美術館企画展開催事業費（企画展「大ガラス絵展」開催経費）

期間：令和7年度まで 限度額：47,331千円

※財源（その他）美術館特別展等事業収入

目的	市民に優れた美術作品及び館蔵品の鑑賞機会を提供し、市民の芸術文化の向上を図るとともに、「創造都市・浜松」の実現に寄与する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・例年、企画展、特別展の開催回数は合わせて3回を目安としている。 ・令和6年度は企画展を2回、特別展を1回開催している。 ・企画展、特別展を合わせた観覧者数は令和4年度30,945人、令和5年度70,455人、令和6年度見込み32,000人。
事業内容	<p>企画展「大ガラス絵展」及び特別展「躍動するアジア陶磁展」の開催</p> <p>1 特別展「躍動するアジア陶磁展」</p> <p>町田市立博物館は国内最大級の東南アジア陶磁と、中国陶磁史を概観できる優れた中国陶磁コレクションを有しており、本市の館蔵品と同時に展示することで陶磁器の歴史と豊かさを周知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間 令和7年4月12日～令和7年6月22日（62日間） ・観覧料 一般1,300円、大・高校生等・70歳以上700円、小・中学生無料 ・主催者 浜松市、第一テレビ ・集客予想 24,000人 <p>2 企画展「大ガラス絵展」</p> <p>浜松市美術館の母体となった内田六郎氏のガラス絵コレクションを基に、ドイツ・アウグスブルグ市のアートコレクション&美術館・博物館等から作品を借用し、日本初のガラス絵の総合的な展覧会を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間 令和7年7月19日～令和7年11月3日（93日間） 通常の企画展2回分の開催期間 ・観覧料 一般1,800円、大・高校生等・70歳以上1,000円、小・中学生無料 ・主催者 浜松市、中日新聞東海本社、テレビ静岡 ・集客予想 45,000人
	<div data-bbox="290 1798 528 2024">  <p>《灰釉兎形壺》 町田市立博物館所蔵</p> </div> <div data-bbox="837 1798 1114 2024">  <p>《April》 アウグスブルグ市 アートコレクション& 美術館・博物館所蔵</p> </div>

躍動するアジア陶磁 展

町田市立博物館の名品から（仮題）

1 開催要項

町田市立博物館は国内最大級の東南アジア陶磁と、中国陶磁史を概観できる優れた中国陶磁コレクションを所蔵しています。本展は、そうしたコレクションの中から東南アジア陶磁器とそれに関連する中国陶磁器、あわせて約 130 点で構成するものです。

東南アジアでは多くの民族が盛衰を繰り返し、時代と地域ごとに多様な文化が形成されてきました。本展では、10 世紀以前～17 世紀を大きく年代順に 6 章に章立てし、その流れの中で、青磁 や青花といった技法や色彩によってその構成を行います。同じ技法でありながら、中国、そして東南アジアのそれぞれの地域によって生みだされたバリエーションを、様々な視点から躍動する アジア陶磁の世界を楽しんでいただきます。

浜松市美美術館の館蔵品と同時に展示する事で、陶磁器の歴史と豊かさを周知します。

2 会期、開催時間

2025年4月12日（土）～6月22日（日） （62日間）※内覧会11日
午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

3 休館日

月曜日（月曜日が祝日の場合は翌火曜日）

4 観覧料

一般：1,300円（1,040円）

大・高校生等：700円

小・中学生：無料

70歳以上：700円

※前売券・20名以上の団体：（ ）内の料金

※障害者手帳等所持者及びその介護者1名：無料

5 開催予算等

開催料：企画料 6,300千円

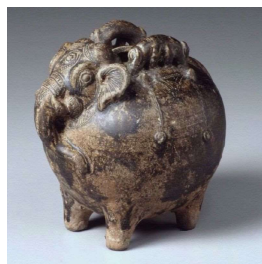
事業総額 20,252千円（負担割合 浜松市：75%、共催：25%）

作品点数：約130点

主催者：浜松市、第一テレビ

集客予想：約24,000人

6 参考作品



黒褐釉象形壺



灰釉兎形壺



青白磁唐子文鉢



五彩靈龍文壺

大 ガ ラ ス 絵 展

1 開催要項

浜松市美術館は、内田六郎(1892 - 1974)のガラス絵コレクションを母体とし、昭和 46 年に静岡県内初の公立美術館として開館しました。

ガラス絵は表から見える部分を最初に描き、通常の絵画とは逆の順番で制作します。14 世紀にイタリアで誕生し、ドイツやフランスなどで花開き、中国を経由して日本にもたらされました。

本展覧会では、ドイツ・バイエルン州アウグスブルクのアートコレクション&美術館・博物館所蔵のシュタイナーコレクション、伊東市城ヶ崎資料館所蔵の平澤コレクション、そして浜松市美術館所蔵の内田コレクションを展示することにより、ガラス絵の歴史と技術の変遷を紹介し作品の芸術的魅力に迫ります。

さらに、令和 5、6 年に行ったガラス絵の顔料調査の様子を画像やパネルで報告し、世界ではじめてのガラス絵の総合的な展覧会を目指します。

2 会期、開催時間

2025（令和7）年7月19日－11月3日（93日） 内覧会7月18日

月曜日休館(月曜日祝日の場合は翌日休館)

午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

3 観覧料

一 般：1,800円（1,440円）

大・高校生等：1,000円

小・中学生：無料

70歳以上：1,000円

主催者：浜松市、中日新聞東海本社、テレビ静岡

※前売券・20名以上の団体：（ ）内の料金

※障害者手帳等所持者及びその介護者1名：無料

4 開催予算等

事業総額：54,279千円

作品数：200点

主催者：浜松市、中日新聞東海本社、テレビ静岡

集客予想：約45,000人

5 参考作品

1階 ガラス絵の誕生 ～ヨーロッパのガラス絵～

2階 波濤を超えて ～中国と日本のガラス絵～

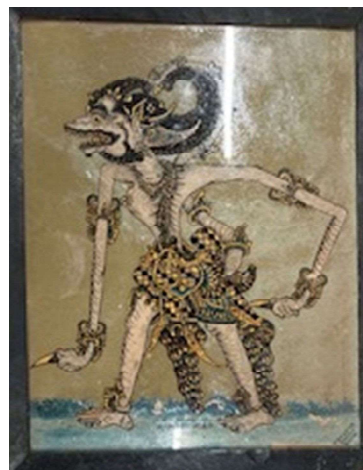
アートコレクション&美術館・博物館所蔵



浜松市美術館所蔵



城ヶ崎文化資料館蔵



浜松市美術館 2025.4→2026.3 展覧会スケジュール

1. 【特別展】躍動するアジア陶磁—町田市立博物館所蔵の名品から— 4月12日(土)～6月22日(日)



左：《青花彩形水注》ベトナム・製（15～16世紀） 右：《五彩雲龍文蓋》中国・明（嘉靖年間1522～56年） 共に町田市立博物館蔵

1973年に開館した町田市立博物館（現在、休館中、2029年に（仮称）町田市立国際工芸美術館として開館予定）は、国内最大級の東南アジア陶磁器と、優れた中国陶磁器コレクションを所蔵しています。この度は、その中から東南アジア陶磁器を中心に選りすぐりの約130点を紹介します。アジアでは多くの民族が盛衰を繰り返し、多様な文化が形成されてきました。人々の生活に根差した工芸である陶磁器には、時代や地域ごとの文化的要素が色濃く表れています。本展では、東南アジアの各地域で生みだされた作品とそれに関連する中国の作品を、技法や色彩の観点から横断的に構成しています。これにより新たな視点から躍動するアジア陶磁器の世界をお楽しみいただけます。あわせて浜松市美術館所蔵の陶磁器もご紹介します。

■ 展覧会観覧料で収蔵品展示もご覧いただけます（収蔵品展示のみのご観覧はできません）。

収蔵品展示 1
不思議な光沢と色感の世界
現代ガラス絵・小出楯重を中心に
会期：4月12日(土)～6月22日(日)



小出楯重《裸女》
1928年
浜松市美術館蔵

収蔵品展示 2
新収蔵品日本洋画展
風景の旅
会期：7月19日(土)～10月5日(日)



原田宗平《秋津川の秋》
1935年
浜松市美術館蔵

2. 【企画展】大ガラス絵展—波瀾をこえ、ガラスにきらめくファンタジー— 7月19日(土)～11月3日(月・祝)



左：《風を待つ女》日本（19世紀）、個人蔵 右：《Op.1》4月の真意》ドイツ（18世紀）、アウクスブルク市アートコレクション&美術館・博物館蔵

浜松市美術館は、初代館長・内田六郎（1892～1974）のガラス絵コレクションをもとに、1971（昭和46）年に静岡県内初の公立美術館として開館しました。ガラス絵は、13～14世紀にイタリアで誕生し、ドイツやフランスなどヨーロッパ諸国で発展し、中国を経由して日本に伝わりました。表から見える部分を最初に彩色し、通常の絵画とは逆の順番で制作されています。本展覧会では、内田コレクションとともにドイツのバイエルン州アウクスブルク市アートコレクション&美術館・博物館や個人所蔵の作品を合わせた約200点を紹介します。ガラス絵の歴史と技術の変遷を辿りながらその芸術的魅力に迫ります。

特別展示



みほとけのキセキ番外編
普門寺の仙像
— 重文降臨！ —
会期：10月7日(火)
～11月3日(月・祝)

《持国天立像》（重要文化財）
平安時代（12世紀）
普門寺（愛知県豊橋市）蔵

3. 【公募展】浜松市第73回市展 2026年2月22日(日)～3月4日(水)【会期中無休】

※会場がクリエート浜松に変更になる予定です。
※12月～3月の間は外壁改修工事のため休館となります（予定）。

令和7年度 浜松市美術館

アートをもっと楽しもう！美術館学芸員講座

学芸員がそれぞれの研究分野や担当した展覧会、館蔵品や地域ゆかりの芸術・文化等を主題に、その価値や魅力をお話します。開催中の展覧会と合わせてお楽しみください。

時間 午後2時～午後3時30分 定員 各日50名

場所 浜松市美術館・2階講座室 料金 要観覧料（講座日に開催中の展覧会観覧料）

1. 6月8日(日)「大ガラス絵画の発見」

講師：増井敦子

(タミエー)ガラス絵は、表から見える部分を最初に描き、通常の絵画とは逆の順番で制作します。14世紀頃にヴェネチアで生まれてヨーロッパ全域に広がり、中国を経由して日本に輸入されました。ガラス絵の歴史をたどりながら、世界のガラス絵と日本のガラス絵を比較し、その魅力に迫ります。



GOOGUOGUOGUO
COOGU



浜松市美術館は、地域ゆかりの阿部辰也や中村弘、清川藤次をはじめ、野見山勝治や元永定正など、多彩な現代美術作品も収蔵しています。本講座では、解説だと思われがちな「現代美術」を、当館のコレクションを例にわかりやすくお話します。現代美術入門編講座です。

阿部辰也（作）1945年 浜松市美術館蔵

3. 9月7日(日)「小形コレクションの陶磁器」

講師：内山智恵

当館が誇る東洋美術の一大コレクション「小形コレクション」の中から、本講座では陶磁器に焦点を当ててご紹介いたします。中国や朝鮮の歴史をたどりながら、陶磁器の魅力や味わうための鑑賞ポイントをお伝えします。東洋陶磁器の奥深い世界をご堪能ください。



《蓮花白花瓶》明時代（嘉靖年間 1522-1566） 浜松市美術館蔵

4. 10月11日(土)「遠州・東三河の仏像一如来と天一」

講師：島口直弥

遠州・東三河地域には、浜名湖を取り囲むように、平安・鎌倉時代に遡る仏像が点在しています。本講座では、阿彌陀如来や薬師如来といった悟りを開いた「如来」、金剛力士や四天王といった仏の世界を外敵から守る「天」の作例に焦点をあて、その見方の基礎・基本、歴史的・芸術的な価値を解説します。



《阿彌陀如来像》平安時代（10世紀） 新所蔵

お申込みはこちら（専用フォーム）
○申込み開始は各日正午、申込み終了は各日午後11時59分です。
○フォームに必要事項をご入力ください。（自動返信有り）
浜松市美術館（053-454-6801） 担当：島口

講座1 QR

講座2 QR

講座3 QR

講座4 QR

展覧会に合わせた講演会やギャラリートーク、ワークショップ、学校団体向け解説等も実施しております。詳細は当館HPをご覧ください。（学校団体向け解説についてはお電話でお問い合わせください）

■ご利用案内

開館時間 9:30～17:00（入館は16:30まで）

休館日 月曜日（祝日の場合は翌火曜日）、年末年始（12/29～1/3）

観覧料 展覧会ごとに異なります（詳細は浜松市美術館HPをご覧ください。）

※所蔵品観覧料で所蔵品展示のみをご覧ください。 ※所蔵品展示のみはできません。

■アクセス

バス JR浜松駅北口 遠鉄バススターミナル1番乗り場、乗車約8分「美術館」停留所下車。

車 東名高速浜松IC、浜松ICから約30分。三方原スマートICから約15分。

駐車場 浜松城公園駐車場（150分無料）



■休館日 トークフリーデー 浜松市第73回市展（クリエイティブ浜松にて開催）

■トークフリーデーは会話を楽しみながらご覧いただけます（御座を待った声のボリュームでお願いたします）

2025						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

2025						
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

2026						
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

2026						
8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

※12月～3月の間は外壁改修工事のため休館となります（予定）。

浜松市美術館

Hamamatsu Municipal Museum of Art

〒430-0947 静岡県浜松市中央区松城町100番地の1

TEL: 053-454-6801

MAIL: art-muse@city.hamamatsu.shizuoka.jp

ホームページ

Facebook

Instagram



令和7年度事業計画（令和6年度中に先行して準備及び一般告知を要する事業）

2 浜松市秋野不矩美術館（展覧会事業）

令和7年度は、特別展及び所蔵品展を貫く展覧会の方向性を「まなざし」をキーワードとして展開します。作家の心の内に沸き起こる「創造の源流」に目を向け、作家の生き様、表現への飽くなき追求、それを支える作家の確固たる眼差しを顕彰していきます。年3回開催される特別展においても、紹介する作家たちの「まなざし」に焦点を当て展覧してまいります。

また、年5回開催する所蔵品展においても、秋野不矩の「創造のまなこ(眼)」に視点を当て、不矩表現の源流となっているものを所蔵品展ごとのテーマに合わせて多面的・多角的に紹介していきます。

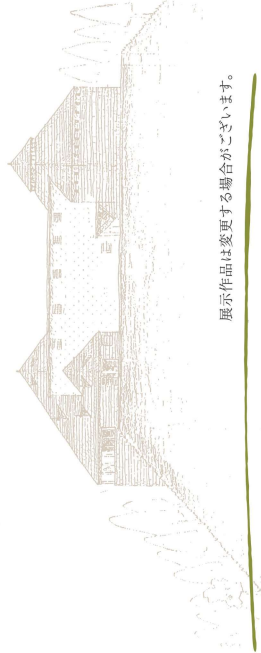
特別展・所蔵品展を通して、伝えるべきメッセージを明確にした上で特別展と所蔵品展との関連性を一層強めた年間テーマとして、関連講座やワークショップも取り入れ、文化の創造・継承・発展に導くための展覧会事業を展開します。

■展覧会事業 開催予定 一覧

事 業 名		開催予定期間	内 容
特別展 （3 事業）			
京都 大原に生きた画仙人 「小松 均 展 自然をまなざす」(仮)	6/14～7/27	小松均は、目に見える自然の形だけでなく、その背後にある世界や精神までも描きつくそうと水墨表現で独自の画境を拓いた。併せて、同様の眼差しで人間や自然を追求した秋野不矩の本画・素描 30 点以上を展示。	
「風景へのまなざし 秋野不矩と 20 世紀日本画の巨匠たち」(仮)	9/13～11/9	不矩が生きた 20 世紀は、日本画がめざましい変革を遂げた時代であり、今では巨匠と呼ばれる作家たちが独自の作風を築き上げた。今回、(株)ヤマタネの所蔵品から風景画の優品と不矩の《雨雲》と《シヴァ寺院》も紹介。	
「京都の日本画―京都画壇の俊英たち―」 京都市立芸術大学 学術資料館所蔵(仮)	1/24～3/8	明治 13 年、京都で日本初の公立美術学校が設立され、現在の京都市立芸術大学まで、数多くの俊英たちを輩出してきた。本展では、明治から現代に至る京都の日本画の流れを一望し、不矩作品と共にその魅力を紹介。	
所蔵品展 （5 事業）			
創造のまなこ(眼)Ⅰ ～ 心施(しんせ) ～	4/1～20	心施とは、他人の傷も自分の傷の痛みとして感じとるまなざしを指す。形なきもの(心や思い)をどのように見える形で表現してきたのか、不矩の創造の源に迫る。	
創造のまなこ(眼)Ⅱ ～ 眼施(げんせ) ～	4/26～5/25	眼施とは、相手や対象を思いやる心で見つめるまなざしのことを指す。作品からにじみ出る温かさや優しさの奥にある表現せずにはいられない作家の思いに迫る。	
創造のまなこ(眼)Ⅲ ～ 慧眼(えげん) ～	8/5～8/31	慧眼とは、真理を見抜くまなざしであると共に、一切衆生の理を見通す知恵のまなざしである。不矩が本当に描きたかったもの・ことから見えてくる大切にしたい価値に迫る。	
創造のまなこ(眼)Ⅳ ～ 天眼(てんげん) ～	11/22～1/12	天眼とは、外見や肩書といった表面的なものから価値を見出すのではなく、眼で見える以上のことまで見ようとするまなざしを指す。不矩作品から天眼の視点に迫る。	
創造のまなこ(眼)Ⅴ ～ 慈眼(じげん) ～	3/17～	慈眼とは、慈しみのこもった慈悲のまなざしを指す。慈愛に溢れた不矩表現の源流を、エピソードや随筆資料と絡め、より深い表現理解・作家理解に迫る。	

AKINO FUKU MUSEUM
EXHIBITION
SCHEDULE
↓
2025.4
2026.3

浜松市秋野不矩美術館 展覧会スケジュール



展示作品は変更する場合がございます。

4.1^日
↓
4.20^日
[所蔵品展]
心施しんせの眼Ⅰ ～心施～

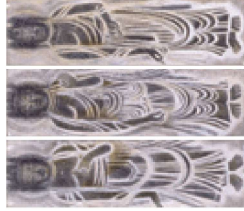
心施とは、他人の傷も自分の痛みとして感じとるまなざしを指します。形なきもの(心や思い)をどのように見える形で表現してきたのか、不矩の創造の源に迫ります。



秋野不矩《少年群像》1950年
浜松市秋野不矩美術館蔵

4.26^日
↓
5.25^日
[所蔵品展]
創造の眼Ⅱ ～眼施げんせ～

眼施とは、相手や対象を思いやる心で見つめるまなざしのことです。作品からにじみ出る温かさや優しさの奥にある表現せずにはいられない作家の思いに迫ります。



秋野不矩《三菩薩像》1986年
浜松市秋野不矩美術館蔵

6.14^日
↓
7.27^日
[特別展]
京都 大原に生きた画仙人
小松均展 - 自然をまなざす

京都大原の地で自給自足の生活を営みながら自然に向き合い制作を続けた小松均。日本各地の風景や身近な生き物など、新たな日本画を模索しながら制作された多彩な表現をご紹介します。



小松均《牛図・さみだれ》1934年 個人蔵

8.5^日
↓
8.31^日
[所蔵品展]
創造の眼Ⅲ ～慧眼えげん～

慧眼とは、真理を見抜くまなざしであると共に、一切衆生の理を見通す知恵のまなざしを指します。不矩が本当に描きたかったもの・ことから見えてくる大切にしたい価値に迫ります。



秋野不矩《席地Ⅰ》1989年
浜松市秋野不矩美術館蔵

9.13^日
↓
11.9^日
[特別展]
風景へのまなざし

作家の目にとらえられた景色は千変万化の表現となり、風景画作品として私たちに新たな世界を紹介してくれます。奥村土牛や小野竹喬、東山魁夷など20世紀の日本画壇を代表する作家たちの風景画をお楽しみください。



東山魁夷《曉雲》1977年
株式会社ヤマタネ蔵

11.22^日
↓
2026
1.12^日
[所蔵品展]
創造の眼Ⅳ ～天眼てんげん～

(12月29日～1月3日は休館)

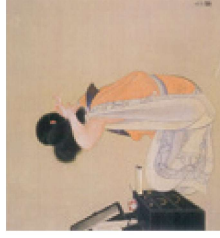
天眼とは、外見や肩書といった表面的なものから価値を見出すのではなく、眼で見える以上のことまで見ようとするとまなざしを指します。不矩作品から天眼の視点に迫ります。



秋野不矩《姉妹》1946年
浜松市秋野不矩美術館蔵

2026
1.24^日
↓
3.8^日
[特別展]
京都市立芸術大学芸術資料館所蔵
京都の日本画 - 京都画壇の俊英たち -

京都市立芸術大学から巣立ち、あるいは教鞭を執った作家たちによる、明治から現代に至る京都の日本画を紹介します。京都の近代日本画の流れを一望するとともにその魅力をご堪能ください。



土田麦庵《髪》1911年
京都市立芸術大学芸術資料館蔵

2026
3.17^日
↓
[所蔵品展]
創造の眼Ⅴ ～慈眼にげん～

慈眼とは、慈しみのこもった慈悲のまなざしを指します。慈愛に溢れた不矩表現の源流を、エピソードや随筆資料と絡め、より深い表現理解・作家理解に迫ります。



秋野不矩《朝の所り》1988年
浜松市秋野不矩美術館蔵

2025 4 Apr.

4.1 - 4.20

創造の眼Ⅰ
～心施～

4.26 - 5.25

創造の眼Ⅱ～眼施～

6.14 - 7.27

京都 大原に生きた画仙人
小松均展 - 自然をまなざす

8.5 - 8.31

創造の眼Ⅲ
～慧眼～

9.13 - 11.9

風景へのまなざし

11.22 - 1.12

創造の眼Ⅳ～天眼～

※12/29～1/3は休館

3.17 -

創造の眼Ⅴ
～慈眼～

2025 4 Apr.

5 May

6 Jun.

7 Jul.

8 Aug.

9 Sep.

10 Oct.

11 Nov.

12 Dec.

2026 1 Jan.

2 Feb.

3 Mar.